



# 全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066  
 東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F  
 編集:全難聴事務局  
 電話:03(3225)5600  
 FAX:03(3354)0046  
 URL:<http://www.zennancho.or.jp>  
 E-Mail:[zennancho@zennancho.or.jp](mailto:zennancho@zennancho.or.jp)

## ↑ 平成 28 年熊本地震 全難聴の対応現状について

4月14日午後9時26分に発生し、現在も余震が続いている「平成28年(2016年)熊本地震」で被災された方々、関係の方々には謹んでお見舞い申し上げます。

4月25日時点での熊本県難聴者・中途失聴者協会(熊難聴)の安否状況をまずお知らせします。

### 熊難聴の全会員の無事を確認。

熊難聴会員の安否確認、不明の4人も含めて聴障センターに連絡があり確認。

14日の地震から数えると11日かかりました。

正会員49名のうち、19日の時点で無事の返信ありが39名

24日までに無事を確認が45名、25日に49名となりました。

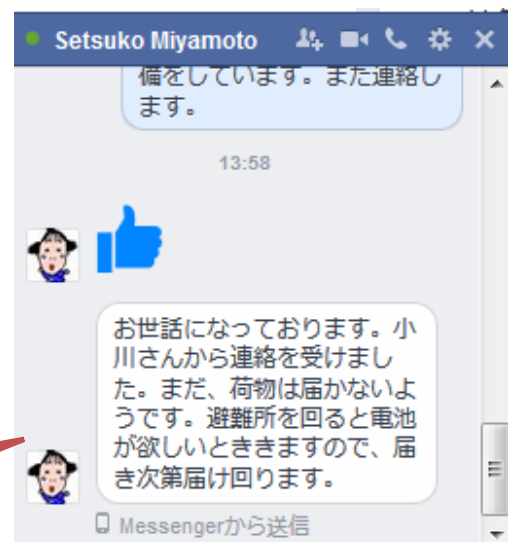
### 【全難聴震災対応経緯】

- 4月15日 地震発生後初めて熊本県協会宮本会長より無事の連絡以降宮本会長の携帯で受信可能なFacebookのメッセージで連絡を取り合う。全難聴事務局及び小川情報文化部部長が昼夜を分かたず交信により熊本県協会の安否確認情報を受ける
- 4月16日 熊本県聴覚障害者情報提供センターにて聴覚障害者対策本部立ち上げに加わる
- 4月18日 対策本部の設置など、理事会に文書審議として提案 理事会承認を受ける
- 4月20日 全難聴熊本地震対策本部設置 構成員決定、専用ML立ち上げ  
このころから各団体より同報で厚労省への報告開始
- 4月21日 見舞い金支出
- 4月22日 支援機器メーカーに筆談ボード支援要請 加盟協会あてに義援金募集開始
- 4月23日 補聴器工業会と補聴器販売店協会との補聴器電池等に関する現地対応について協議
- 4月25日 熊本県聴覚障害者情報提供センターあて支援物資発送  
(筆談ボード、耳マーク腕章、耳マークベスト)  
補聴器電池発送依頼(RAYOVAC社)
- 4月27日 熊本県聴覚障害者地震対策本部の救援・支援活動を29日より開始に付き全難聴・全日ろう連の各九州ブロックの協働で行うことを決定

4月22日頃からようやく熊本市東区の情報提供センター一周辺への宅急便送付が可能になりました。

中二日ほどかかりましたが、支援物資は28日に到着しました。また同日、補聴器販売店協会のご協力で、補聴器用電池がメーカーから直送されました。

宮本会長とのメッセージ  
連絡の様子



## 「平成 28 年(2016 年)熊本地震」に対する災害義援金について (お願い)

拝啓

4 月 14 日午後 9 時 26 分に発生し、現在も余震が続いている「平成 28 年(2016 年)熊本地震」で被災された方々、関係の方々には謹んでお見舞い申し上げます。

今回の地震は震度 7 の地震が 2 度も起こり、いまだに余震が収まっていない上に大雨にも見舞われ、様々な被害が生じています。

全難聴では、被災された中途失聴者、難聴者、関係者への支援のための「災害義援金」を募ることに致しました。

義援金は今回の地震において被災に遭われた中途失聴・難聴者および要約筆記者等の方々の支援のために使わせて頂きます。

その他。補聴器や人工内耳、電池、簡易筆談器、ホワイトボードなど聞こえない人々への支援に不可欠なものを確保することも重要です。また、一定期間後現地支援も必要になりますので、その費用にも充てたいと存じます。

この災害に対して少しでも皆様方の善意をお示しいただければありがたく存じます。以下の要領にて義援金をお寄せ下さい。

敬具

### 記

- 1 義援目標 500 万円
- 2 受付期間 2016 年 6 月 10 日まで (6 月 4 日が当会総会の日です)
- 3 送金先 郵便振替口座 00180-9-576172 (社)全難聴
- 4 お願い 別途、普通の振込用紙を使用の際は「通信欄」に“熊本地震義援金”と明記下さい。

以上

平成 28 年(2016 年) 全難聴熊本地震対策本部  
連絡先 〒162-0066 東京都新宿区市谷台町 14 番 5 号 MSビル市ヶ谷台 1 F  
電話 03 (3225) 5600 FAX 03 (3354) 0046  
e-mail [zennancho@zennancho.or.jp](mailto:zennancho@zennancho.or.jp)

### 皆様へお願い (4月25日現在)

避難所支援行動に自主的に参加される方がいらっしゃいます。

現地で主に動ける熊難聴メンバーは3人で、協会会員への支援活動を精力的に展開しています。

被災現地入りする他県の難聴者が自主的な支援活動をしているケースもあり、熊難聴では、このような方々に指示したり対応することが困難です。全難聴では地元の聴覚障害者対策本部、熊難聴と全難聴九州ブロック協議会も加わり支援・救援活動を進めていきます。全難聴熊本地震対策本部の支援・救援活動が実効性ある支援活動となりますようご理解をお願いいたします。また熊本地震義援金への協力をお願いいたします。

## ⇧ 障害者差別解消法の施行にあたっての声明（3月31日）

日本障害フォーラム（JDF）は、2016年4月1日から「障害者差別解消法」が施行されることにあたり、厚労省内厚生労働記者会にて記者会見を行い、構成団体として共同声明を発表しました。

声明文は、新谷理事長が読み上げ、まず法律の施行までの関係者の尽力に敬意を表し、かつ差別をなくす実質的な取り組みが今後の課題になると述べました。



## ⇧ 2020年東京オリンピック・パラリンピック「心のバリアフリー」「街づくり」ヒアリング（4月19日）

競技大会の開催を通じて、誰もが安全で快適に移動できるユニバーサルデザインの考えに基づいた「街づくり」と、障害の有無等にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「心のバリアフリー」を推進することを目的に分科会が内閣官房を中心に開催されています。

すでに全難聴から理事、専門部長が各分科会を傍聴していましたが、今回特に上記2つの分科会について意見表明を求められました。全難聴から「心のバリアフリー」分科会に宇田川部長。「街づくり」分科会には小川部長が出席し、意見を述べました。心のバリアフリーでは、中途失聴者・難聴者の抱えるバリアについて、また難聴者に対する接遇マナーも含めて広く啓発することを求めました。「街づくり」分科会では補聴支援環境、文字情報支援環境の整備について意見を述べました。

## ⇧ 民進党 障がい・難病政策推進議員連盟ヒアリング（4月26日）

民進党の「障がい・難病政策推進議員連盟」より障害者施策に関するヒアリングを求められました。



新谷理事長が衆議院議員会館にて意見を述べました。熊本県の地震直後ということもあり、東日本大震災で障害者の犠牲者数が2倍であった事実を踏まえ、避難生活上の困難さについても意見書の冒頭に加えました。民主党政権当時、同党主導で行なわれた「障がい者制度改革」には新谷理事長が深く関わってききましたので、「障害者認定基準の国際的レベルへの変更」「あらゆる分野での情報保障、コミュニケーション支援」「補聴器交付と補聴援助システムの整備」



など以前より全難聴が訴え続けている要望を述べました。

## 📌 理事及び専門部長の動き（4/1～4/30）

- 4月2日 補聴医療対策部人工内耳メーカー懇談会（新谷、根間、瀬谷）
- 4月3日 補聴医療対策部部会、補聴器関連団体懇談会（新谷、佐野、根間、瀬谷、小川）
- 4月6日 厚労省新任自立支援振興室長面談（新谷、佐野）
- 4月6日 聴覚障害者制度改革推進中央本部拡大本部会議（新谷、佐野）
- 4月9日 安倍総理主催「桜を見る会」（川井）
- 4月12日 JDF 企画委員会（佐野）
- 4月13日 総務省、放送事業者との意見交換会（小川）
- 4月17日 みみより会創立60周年記念式典・祝賀会（川井）
- 4月18日 新国立競技場整備事業UDワークショップ（第3回）（新谷）
- 4月19日 オリパラ心のバリアフリー分科会（宇田川）
- 4月19日 オリパラ街づくり分科会（小川）
- 4月20日 障害者放送協議会第1回著作権委員会（川井）
- 4月23日 国際部会議（佐野、瀬谷、永井）
- 4月24日 福島県協会30周年記念大会（新谷）
- 4月26日 民進党議員連盟ヒアリング（新谷）
- 4月27日 JDF 幹事会（新谷）
- 4月30日 全難聴だより No. 95 発行予定

## 📌 事務局報告

- 4月3日 補聴医療対策部部会、補聴器関連団体懇談会
- 4月23日 国際部会議
- 4月25日 自立コムより支援物資受け取り
- 4月26日 民進党議員連盟ヒアリング
- 4月27日 千里福祉情報センター来所
- 4月30日 全難聴だより No. 95 発行予定

《予定》

- 5月2日 全社協議員総会
- 5月2日 省庁向け震災対応要望
- 5月10日 四団体連絡会
- 5月17日 新国立競技場整備事業UDワークショップ第4回
- 5月18日 総会議案書発送
- 5月20日 リハ協理事会
- 5月27日 監査会
- 5月28日 第1回理事会

### 桜を見る会：川井理事が招待を受ける

平成27年度厚生労働省更生援護功労者として表彰された川井理事は、安倍総理主催の桜を見る会にご夫婦で招待されました。以下、感想をいただきました。

家内は安倍総理と写真を取ると張り切っていましたが、1万五千人も集まり、人垣ばかりで、お姿を見ることなく引き上げました。選挙などには目も向かないのに、家内はかなり頑張っていたようですが、もう帰ろうと言ったら、残念と考えの甘かったことを帰りの車中で話しました。（川井理事）

### 総務省、放送事業者との意見交換会放送（放送協議会）

日本障害フォーラムの「障害者放送協議会」では、協議会と「総務省」「放送事業者」との3者意見交換会を継続して続けています。

全難聴から小川部長が参加し、障害者差別解消法への対応、参政権として国会中継、政見放送をどうするか。また、バリアフリー放送事情についてなど、活発な議論が全体会と分科会に分かれて行なわれています。字幕、手話放送、解説放送など各団体からの要望を含めた議案について、省庁、業者から直接取り組みについて聞いています。

選挙を控え、活発な議論が今後も続きます。